

# 家庭学習の手引き

子供の学力を学校と家庭の連携で向上させる！

**家庭でも学習します！そうすると・・・**

## ① 学習内容が定着します！

学校で学習した内容を家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、学校の授業だけでは、なかなか定着しません。学校で「わかった」ことが、反復練習によって「できる」という自信にかわります。

## ② 学ぶことが習慣化します！

毎日、家庭学習を続けることにより、勉強することが当たり前の習慣となり、学ぶ楽しさを身に付けることができます。集中力や学習することへの意欲が高まります。

## ③ 家族とのふれあいの時間が充実します！

音読を聞いてあげたり、一緒にわからないことを調べたりすることで、家族でコミュニケーションを図るチャンスとなります。

**将来における学びにつながります！**

## ◆家庭学習の3つのポイント

### ① 毎日決まった時間に

習い事に通うなど、放課後の時間も限られているかと思います。

家族で話し合い、無理のない時間設定をして、短い時間でも「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせてください。

### ② 整った環境で集中して

テレビを見ながら、お菓子を食べながらなど「ながら勉強」はさせないでください。保護者の目が行き届くところで、集中して取り組めるようご家庭で工夫してください。

### ③ 保護者のサポートを受けながら

子供が取り組んだことに目を通していただき、がんばりを認め、ほめてあげるなど、励ましの言葉をかけてください。時には、そばで一緒に取り組むなどして、子供の様子を把握してください。

## ◆家庭学習の方法

★まず学校の宿題をやります。

★余った時間で自主学習をやります。

★終わったら、時間割をそろえます。また、鉛筆を削るなど筆箱の中身を確認し、明日の準備をします。

## ◆家庭学習の内容

### 宿題について

★基本、毎日宿題を出します。

★主に学校で習ったことの習熟を図るものとします。

例：音読、ドリル、漢字や計算練習、プリントなど

### 自主学習について

★自分で課題を決めて取り組みます。

例：今日の授業で勉強したことを、もう一度家庭学習ノートに書き写す

(学年の取組例を参考に)

## ◆学年別取組例(保護者のサポート)

### ○低学年(1・2年生)

学習時間の目安 20～30分程度

### 基本的な学習習慣づくりをサポートする

- ・一緒にやって、やる気を起こさせる
- ・いつも決まった場所で取り組ませる
- ・次の日の学習準備を一緒に行う

<例>

- 教科書の文章をはっきりとした声で、正しくすらすらと読めるよう練習する。
- 出来事を思い出して、日記に書いてみる。
- 時計のいろいろな読み方を、お家の人と一緒に練習する。
- ひらがなやかたかなを正しく書く練習をする。
- 漢字の書き順や送り仮名に気をつけて書く練習をする。
- 日常生活の中で感じた疑問や調べたいこと等をノートなどにまとめる。

## ○中学年(3・4年生)

学習時間の目安 **30～40分**程度

### 子供のやる気を支え、学習習慣の定着を図る

- ・がんばりを見逃さず、励ましの言葉をかける
- ・学習を始める時間を一緒に決める
- ・学校からのお便り等を手渡しで受け取る

<例>

- お家の人の前で、はっきりとした声で音読の練習をする。
- 一日を振り返り、したことや思ったことを日記に書く。
- ドリルなどを使って筆順に気をつけながら漢字練習をしたり、計算問題をたくさん解いたりする。
- 分からない言葉を辞書で調べて、用例も書いておく。
- 理科や社会などで、今学習していることの内容について分かったことをまとめたり、もっと知りたいことについて調べたりする。

## ○高学年(5・6年生)

学習時間の目安 **50～60分**程度

### 見守り、励まし、自主性を伸ばす

- ・計画を立てて自力で学習を進められるよう見守る
- ・自分に合った生活リズムで取り組めるようにする
- ・学校であったことなど、子供の話をよく聞くようにする

<例>

- 情景を浮かべながら感情を込めて音読をしたり、詩や俳句などを暗唱、朗読したりする。
- 分からない言葉や漢字を辞書で調べて、用例等も書いておく。
- テストやプリントで間違ったところをもう一度やり直してみる。
- 一日を振り返り、思ったことや考えたことを日記に書く。
- 理科や社会などで、今学習していることの内容について分かったことをまとめたり、もっと知りたいことについて調べたりする。